

## 【38】周回記録員

### 1 任務

- (1) 800m以上の競技では、周回表示器を用いて周回を競技者に知らせ、最終回には鐘を鳴らす。
- (2) 1500m以上の競技では、各競技者の走り終わった回数を記録する。
- (3) 5000m以上の競技では、計時員と協力して割り当てられた各競技者の1周ごとの通過時間を記録する。

### 2 編成と分担

#### (1) 主任

各審判員の任務分担を決め、正確に任務を遂行できるように総合的に管理し、記録結果を掌握するとともに競技者に的確な指示等ができる体制を作り審判長を補佐する。

#### (2) 副主任

主任と連絡を密にして、各審判員の任務を掌握し、競技者の周回数を確認し、的確な指示が速やかにできる体制を作る。

#### (3) 周回表示器担当

- ① 周回表示器担当者は、先頭走者から絶対に目を離さない。
- ② 3人1組になり、1名は周回板の回数を減らす毎に主任(副主任)及び周回用紙担当者と必ず回数の確認をするとともに最終回には、鐘を担当する者に各走者の周回を知らせる。
- ③ 鐘を鳴らす者はフィニッシュラインの10m前から約3秒間鐘を鳴らす。先頭以外の者に鳴らすときにも出来る限り鳴らす(音は大きく2回程程度)ものとするが、周回遅れの走者に鳴らすときには、十分注意をはらう。特に先頭走者がフィニッシュライン通過時と交わる時には、ハンドサイン(カード)を表示して行う。

#### (4) 周回用紙担当

- ① 3人1組になり、読み上げ者(腰ナンバーカードを読み上げる)は、周回表示器担当者の動向に注視し周回表示器の回数の間違いが無いかを確認する。
- ② 記録者はレースを見ることもなく、周回用紙のみに集中し、読み上げ者が読み上げる番号のみに集中し頭の中で整理しながら用紙に記入する。
- ③ 確認者は読み上げ者の腰ナンバーカードに間違いは無いか、記入に間違いは無いかチェックする。(特に周回遅れについて)

#### (5) インカム担当

- ① 周回表示器担当、周回用紙担当の側にインカム担当者を置き、走者のラスト1週の連絡を取り合い、周回表示器担当者に自然な形で連絡する。
- ② 写真判定員がスムーズに着順判定が出来るように、フィニッシュラインに到達する選手の腰ナンバーをインカムであらかじめ読み上げ、写真判定員に連絡する。

#### (6) 通過時間担当

- ① 5000m以上の競技においてはビデオ撮影を行い、全走(歩)者のフィニッシュライン通過の映像を残しておく。フィニッシュ地点とフィニッシュタイマーが映像画面に映るようにビデオを設置する。
- ② 各周回の先頭走者に限ってフィニッシュライン通過タイムを秒単位で記録する。計時員は記録員の後ろに位置し、タイムを読み上げる。

### 3 審判員の厳守事項

- (1) 与えられた任務に自信と責任を持って任務遂行する。
- (2) 任務遂行中は、絶対に私的な会話をしない。
- (3) 配置の際(終了時)には整列して行進する。
- (4) 全日程終了まで待機する。
- (5) 全日程終了後全員で片付け(使用した物を返却)をする。